

私立大学図書館協会2010年度西地区部会第1回役員会議事要録

<敬称略>

1. 日時：2010年6月17日（木）15：30～17：40

2. 場所：ブルーウェーブイン小倉「響の間」

3. 出席：10大学 19名

会長校	関西大学	図書館長	北川勝彦
		副主幹	金 東澄
		事務長補佐	赤木一夫
部会長校	同志社大学	図書館長	百合野正博
		学術情報課長	上田裕保
監事校	大阪学院大学	課長代理	中村保夫
東海地区理事校	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	図書館長	岸 恭一
		課長	守田正江
京都地区理事校	京都女子大学	図書館長	御領 謙
		図書課長	亀塚 修
阪神地区理事校	関西外国語大学	課長補佐	藤津滋生
中国・四国地区理事校	ノートルダム清心女子大学	事務部長	浮田信明
		情報サービス係長	土師裕子
九州地区理事校	九州産業大学	事務部長	岩佐哲朗
		庶務係長	宮丸由美子
		主任	高濱 純
2010年度総会当番校	九州共立大学	図書館長	森川壽人
		課長	古賀 進
2010年度研究会当番校	金城学院大学	課長	鈴木卓美

議事に先立ち、部会長校 同志社大学図書館長 百合野正博、会長校 関西大学図書館長 北川勝彦、総会当番校 九州共立大学附属図書館長 森川壽人が挨拶を行い、続いて出席者全員が自己紹介をした。議長は部会長校 同志社大学図書館長 百合野正博が担当した。

議事

報告事項

1. 西地区部会会務報告

部会長校 同志社大学（上田）から配付資料（p.3～7）により報告があった。

2. 各地区協議会及び研究会報告

(1) 東海地区協議会

東海地区理事校 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）から配付資料（p.7～11）により報告があった。

(2) 京都地区協議会

京都地区理事校 京都女子大学（亀塚）から配付資料（p.11～14）により報告があった。

(3) 阪神地区協議会

阪神地区理事校 関西外国語大学（藤津）から配付資料（p. 15～18）により報告があった。

(4) 中国・四国地区協議会

中国・四国地区理事校 ノートルダム清心女子大学（浮田）から配付資料（p. 18～19）により報告があった。

(5) 九州地区協議会

九州地区理事校 九州産業大学（宮丸）から配付資料（p. 20～22）により報告があった。

3. 私立大学図書館協会会務報告

会長校 関西大学（金）から配付資料（p. 23～40）および別紙により報告があった。

協議事項

1. 2009年度西地区部会決算(案)及び監査報告について

部会長校 同志社大学（上田）から配付資料（p. 41）により提案があった。引き続き、監事校 大阪学院大学（中村）から監査報告があり、承認された。

2. 2010年度西地区部会事業計画(案)

部会長校 同志社大学（上田）から配付資料（p. 43）により提案があり、承認された。

3. 2010年度西地区部会総会の開催運営

総会当番校 九州共立大学（古賀）から配付資料（p. 43～44）により総会運営について提案があり、承認された。

4. 2010年度館長懇話会の運営について

議長 同志社大学（百合野）から別紙資料によりテーマ「私立大学を取り巻く環境の変化に対応する大学図書館のあり方」の趣旨説明があり、フリートーク形式で開催する旨提案があり、承認された。

5. 2010年度西地区部会研究会の開催運営について

研究会当番校 金城学院大学（鈴木）から配付資料（p. 44～45）により研究会開催次第（案）の提案があり、承認された。

6. 2010年度西地区部会予算(案)について

部会長校 同志社大学（上田）から、配付資料（p. 46）により予算（案）の提案があり、承認された。

承合事項

なし

確認事項

1. 2010・2011年度西地区部会役員校について

議長 同志社大学（百合野）から配付資料（p. 47）により説明があり、確認された。

2. 2010・2011年度西地区部会当番校について

議長 同志社大学（百合野）から配付資料（p. 47）により説明があり、確認された。

なお、2017年・2018年度の私立大学図書館協会会長校候補に東海地区から名城大学を選出されたこと、および2012年度から2014年度迄の役員校・当番校について、配付資料（p. 48～49）により確認された。

3. 西地区部会関連行事日程について

議長 同志社大学（百合野）から配付資料（p.50）により説明があり、確認された。

懇談事項

1. 地区協議会会計の運用について

地区協議会、西地区部会および私立大学図書館協会の会計について、各役員校から運用状況の報告があり懇談した。

その他

1. 部会長校資料の整理について

部会長校 同志社大学（上田）から資料を整理する時期であると説明があった。資料を確認したうえで、整理の判断をしてはどうかという意見があった。

以 上